

ニプロ経腸栄養用エクステンションチューブ （DEHP可塑剤フリー）

再使用禁止

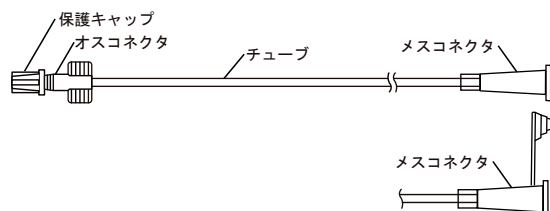
【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

〔構造図（代表図：品種により構成部品が異なる場合がある。）〕



2. 材質

チューブ	ポリ塩化ビニル
オスコネクタ	ポリカーボネート、アクリロニトリル-ブタジエンスチレン共重合体
メスコネクタ	ポリ塩化ビニル、ポリカーボネート

本品はポリ塩化ビニルに可塑剤（トリメリット酸トリ-2-エチルヘキシル）を使用している。

【使用目的又は効果】

胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して経腸栄養剤を投与する器具をいう。

【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. 保護キャップを取り外します。
3. 他の医療機器と速やかに接続します。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 接続部に栄養剤等を付着させないでください。〔接続部の緩みや外れのおそれがあります。〕

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) チューブ等が身体の下等に挟まれないよう注意すること。
〔チューブ等の折れ、閉塞、破損等のおそれがある。〕
- 2) チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないように、さらに注射針の先端、はさみ等の鋭利なもので傷をつけないように注意すること。〔液漏れや破損のおそれがある。〕
- 3) チューブとコネクタ等の接合部には過度に引張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけないよう注意すること。
〔チューブの抜け、破損、伸び等のおそれがある。〕
- 4) コネクタを接続する場合は、過度な締め付けをしないこと。
〔コネクタが外れなくなる、又はコネクタが破損し、接続部からの液漏れのおそれがある。〕
- 5) オスコネクタとポリ塩化ビニル製のメスコネクタを接続する場合は注意すること。〔外れなくなるおそれがある。〕
- 6) 栄養剤投与の後には、必ず微温湯によりフラッシュ操作を行うこと。〔栄養剤等の残渣の蓄積によるチューブ詰まりを未然に防ぐ必要がある。〕
- 7) チューブを介しての散剤等（特に添加剤として結合剤等を含む薬剤）の投与は注意すること。〔チューブ詰まりのおそれがある。〕

- 8) 栄養剤等の投与又は微温湯等によるフラッシュの際、操作中に抵抗を感じられる場合は操作を中止すること。〔チューブ閉塞やチューブ破損のおそれがある。〕
- 9) チューブが詰まった場合は、新しい製品に交換すること。
- 10) 使用中は本品の破損、接合部の緩み、液漏れ及び詰まり等について、定期的に確認すること。
- 11) 脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤等を含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、ひび割れに注意すること。〔薬液によりひび割れが生じ、薬液漏れ等の可能性がある。なお、ライン交換時の締め直し、過度な締め付け及び増し締め等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。〕
- 12) ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
- 13) 本品は合成樹脂製品のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから取扱いには注意すること。〔破損のおそれがある。〕

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。
有効期間：滅菌後3年（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

電話番号：06-6372-2331（代表）

製造（輸入先）

ニプロ（上海）有限公司

[NIPRO(SHANGHAI) CORPORATION LIMITED]

中華人民共和国

[People's Republic of China]



ニプロ株式会社